

# 仙台高等専門学校名取キャンパス図書館における ライブラリートークの実施

岡崎久美子<sup>\*1</sup>, 窪田 眞治<sup>\*1</sup>, 若生 一広<sup>\*1</sup>, 森 真奈美<sup>\*1</sup>, 北島 宏之<sup>\*1</sup>, 小林 仁<sup>\*1</sup>,  
梅木 俊輔<sup>\*1</sup>, 荒 孝二<sup>\*2</sup>, 後藤 浩子<sup>\*2</sup>, 国分 宏樹<sup>\*2</sup>, 遊佐 梨江<sup>\*2</sup>

## Library Talk Implementation at National Institute of Technology Sendai, Natori Campus Library

Kumiko OKAZAKI, Shinji KUBOTA, Kazuhiro WAKO, Manami MORI, Hiroyuki KITAJIMA,  
Hiroshi KOBAYASHI, Shunsuke UMEKI, Koji ARA, Hiroko GOTO, Hiroki KOKUBUN,  
and Rie YUSA

This paper reports on the fourth and fifth Library Talks at NIT Sendai, Natori Campus Library, during the 2020 academic year. We managed to hold this college event at the library after students were permitted to come to campus to attend in-person classes. Because we reduced the venue seating capacity for infection prevention, we provided a video distribution service. The service was used by those who were unable to attend the event or who wanted to avoid crowded places.

KEYWORDS: City Library, covid-19, Night Library Lecture, Sendai Kosen Natori Library Café (Library Café at NIT Sendai, Natori Campus), video distribution service

### 1. 本論の目的

本論は、仙台高等専門学校（以下、仙台高専）名取キャンパス図書館が令和元年度から開催している学内行事、ライブラリートークの実施報告である。動画配信を導入した効果などについて振り返る。ライブラリートークの関連行事についても言及する。

### 2. ライブラリートークの実施

#### 2. 1 ライブラリートークと名取市図書館ナイトライブラリー

仙台高専名取キャンパス図書館は、仙台高専なとりライブラリーカフェを平成28年度から8回開催してきた。その概要は岡崎他 (2017)<sup>1</sup>、岡崎他 (2018)<sup>2</sup>、岡崎他 (2019)<sup>3</sup>、岡崎他 (2020)<sup>4</sup> に述べている。

---

\*1 総合工学科 (Dept. of General Engineering)

\*2 総務課 (General Affairs Division)

この行事は、令和元年度のライブラリーカフェの後に新たな2つの活動へとつながった。第一は名取市図書館ナイトライブラリーへの協力であり、第二はライブラリートークの開催である。

第一のナイトライブラリーは、地元名取市の図書館が市民を対象として実施している講演会である。仙台高専の福村校長が講師として招待され、令和2年度8月の実施となった。仙台高専などライブラリーカフェがそのきっかけとなった。ナイトライブラリーの開催に本校も協力した。

概要を以下に示す。

令和2年8月ナイトライブラリー

日時：令和2年8月28日（金） 19:30～20:30（講演、質疑等を含む）

場所：名取市図書館

講師：福村 裕史先生（仙台高専校長）

演題：歴史の中の光化学

会場は満席となった。参加者は、豊富な資料を参考としながら、光化学研究の歴史を日本と西洋の歴史の中に位置づけて学ぶことができた。また、光化学研究の成果が我々の生活に与えている恩恵や、エネルギー等の人類の問題の解決に対する光化学研究の貢献可能性等について知ることができた。講演の終了後には多様な視点からの多くの質問が出された。閉会の後にも、多くの参加者が講師を囲んだ<sup>注1)</sup>。

第二のライブラリートークは名取キャンパス図書館が令和元年度に新たに開始した行事である。ライブラリーカフェの継続発展のための試みとして実施した。ライブラリーカフェが学生・教職員および地域の市民を主な対象とした学外公開行事であるのに対し、ライブラリートークは学内行事と位置づけ、仙台高専名取キャンパスの学生を対象としている。第1回の概要は岡崎他 (2020)<sup>4)</sup>で報告した。年度中に全3回を実施した。

開催の概要は以下のとおりである。

令和元年度ライブラリートーク

第1回

日時：令和2年1月16日（木） 14:40～15:10（講演、質疑等を含む）

場所：仙台高専名取キャンパス図書館 1階グループ学習エリア

講師：福村 裕史先生（仙台高専校長）

演題：光と化学—光学顕微鏡技術の最前線—

第2回

日時：令和2年1月20日（月） 14:40～15:10（講演、質疑等を含む）

場所：仙台高専名取キャンパス図書館 1階グループ学習エリア

講師：永弘進一郎先生（仙台高専総合工学科 N3 ユニット）

演題：天体写真撮影—その変人的世界（君は沼にしずむ音を聞いたことがあるか？）

第3回

日時：令和2年1月29日（水） 14:40～15:10（講演、質疑等を含む）

場所：仙台高専名取キャンパス図書館 1階グループ学習エリア

講師：野角 光治先生（仙台高専総合工学科 N1 ユニット）

演題：演劇—言葉の向こうから

## 2. 2 令和2年度の概要

令和2年度は、ライブラリーカフェとライブラリートークの両方を実施する計画であったが、前者はやむなく中止とした。ライブラリーカフェは、例年は学校祭と併せて日程を組んでいたが、その学校祭が新型コロナウイルス拡大防止のため中止となったことによる。また、ライブラリーカフェは、名取市や近隣の市や町の関係機関にも案内しており、学外からの参加が多い状況であったが、学外者には図書館の利用を暫定的に控えていただくよう周知していたことも一因である<sup>注2)</sup>。よって、本論では後者のライブラリートークについて報告する。

本年度に実施した2回のライブラリートークの概要は以下の通りである。

令和2年度ライブラリートーク

第1回

日時：令和2年12月17日（木） 14:45～15:15（講演のみ）

場所：仙台高専名取キャンパス図書館 1階グループ学習エリア

講師：中田 純一先生（仙台高専教育研究技術支援室）

演題：南極観測隊の仕事と生活 パートI

岡崎久美子, 窪田 眞治, 若生 一広, 森 真奈美, 北島 宏之, 小林 仁,  
梅木 俊輔, 荒 孝二, 後藤 浩子, 国分 宏樹, 遊佐 梨花

## 第2回

日時：令和3年1月14日（木） 15:00～16:00（講演、質疑等を含む）

場所：仙台高専名取キャンパス図書館 1階グループ学習エリア

講師：中田 純一先生（仙台高専教育研究技術支援室）

演題：南極観測隊の仕事と生活 パートII

講師の決定は例年通り図書委員会で行っている。令和2年度は、第60次南極地域観測隊員（越冬隊員）として南極に長期滞在し、帰国されて間もない仙台高専の中田さんに依頼した。初めて1名の講師による連続トークとした。来場による参加者数は2回の合計で28名である。

令和2年度の新たな試みは、オンラインでの視聴ができるようにしたことである。録画を行事の終了後から学内に公開している。動画の再生数は、1月末日時点で50回である。感染症対策のため会場の人数を制限したことへの補完措置として導入した。全員が参加可能な日程の確保が難しい状況にあったことも背景にあった。前期の授業や行事の一部が後期に変更されたために後期の日程が立て込んでいた。

令和2年度は、開催の可否から慎重に検討した。対面授業再開の後も感染症対策から大規模な集会等の開催は回避されていた。図書館開催行事のひとつである文献検索・電子ジャーナル講習会は、対面型からオンデマンド型へと変更して実施していた（岡崎他(2021b)<sup>5)</sup>）。しかしながら、ライブラリートークは直接の対話を重視したいと考え、最終的には、各種の感染症対策をとり少人数での対面型で実施することとした。

### 2. 3 学内および館内における行事前の周知

行事前には学内の各所においてポスターやちらしを用いて周知を行った。使用したポスターを図1に示す。教職員には諸会議の場やメールを併用した。

加えて、図書館においては、図2のように大型モニターで情報を提供した。

館内の会場には、企画展示のひとつとしてライブラリートーク特設コーナーを設けた。図3に示すとおり、ポスターを掲示し、関連図書やちらしを置いている。行事の周知のために、行事約1か月前の11月に開始した。実施日までは展示およびちらしの配布のみとしたが、実施後には貸出を行っている<sup>注3)</sup>。

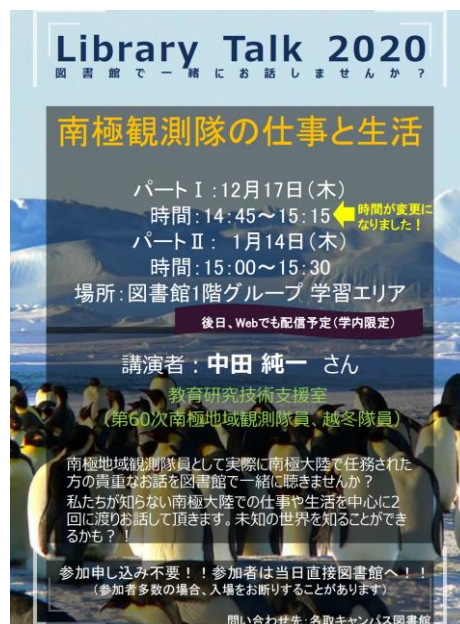


図1 ライブラリートーク 学内周知ポスター



図2 大型モニターによるライブラリートークの周知



図3 ライブラリートーク特設コーナー

## 2. 4 当日の状況

当日の配付資料は、参加者アンケートの用紙と「仙台高専名取キャンパス図書館利用案内」のリーフレットである。後者の配付は学生の図書館利用を促すねらいがあり、トークの場でも口頭でも図書館サービスの案内を行っている。

感染症対策として、学内で通常行っているもののほかに、会場設営における座席配置の工夫などを行った。

会場レイアウトは令和元年度のライブラリーカフェおよびライブラリートークの形態を踏襲した。ただし前述の通り座席数を減らした。用意した席はすべて埋まり、関係者は立ち見となった。

参加者は南極での数々のエピソードに驚き、また、貴重な写真と動画資料に見入った。予想を超えて過酷な側面と、日常生活が予想以上に守られていると感じられる側面が交錯し、どのような関心を持って参加した者にとっても、学ぶところの多いトークであったと思われる。

第2回の質疑の時間には「どのようにしたら南極の越冬隊員になれるのか」など多くの質問が寄せられた。第1回は時間の制約から講演のみとしたこともあり、第2回では時間を超えて質疑が続いた。

当日の様子は仙台高専と名取キャンパス図書館のホームページに報告している。図4と図5は当日の会場の様子である。



図4 ライブラリートーク第1回の様子



図5 ライブラリートーク第2回の様子

## 2. 5 動画の利用状況および参加者アンケート結果

動画の公開については、会場のほか、学校と名取キャンパス図書館のウェブサイトでも案内した。現時点でも再生回数が伸びている。日程が授業と重複した学生、関心があったものの集会等への参加を心配に思い参加しなかった学生、参加者から内容の面白さを聞いた学生などが視聴している。動画の提供が連続講義の受講にも有効であったことが以下のアンケート結果からわかる。

なお、動画の公開後に、視聴したいという要望が学外からも寄せられた。関心を持ってもらったことに謝意を表しつつ、講師と当初に計画したとおり、公開範囲は学内とした。

各回の終了後に、参加者対象アンケート<sup>注4)</sup>を実施した。結果は以下のとおりである。会場参加者28名中、回答者は14名である。

参加者アンケート(令和2年度第1回用・第2回用)

### 1) 所属について

本校学生	11
本校教職員	3

所属や学年はさまざまであり、偏りは見られなかった。

### 2) ライブラリートークの内容について

とてもよかった	8
よかった	5
普通	0
あまりよくなかった	0
よくなかった	0
回答なし	1

得られた回答ではよいという結果であった。

### 3) 開催時期や場所について

時 期 早い 0, ちょうどよい 13, 遅い 0

回答なし 1

時間帯 早い 1, ちょうどよい 13, 遅い 0

長 さ 短い 5, ちょうどよい 9, 長い 0

場 所 狭い 0, ちょうどよい 14

制限が多い中での開催だったがよい反応を得た。

### 4) ライブラリートーク開催情報の入手先について

図書館ホームページ 0

ポスター (学内) 11

メール 2

担任・教員から聞いて 0

知人・友人の紹介 2

複数を選択している回答もあり、回答の合計数はアンケート回収数とは一致しない。今回はポスターから情報を得た回答者が多かった。

### 5) 今後のライブラリートークの参加について

ぜひ参加したい 3

参加したい 11

どちらともいえない 0

あまり参加したくない 0

参加したくない 0

また参加したいとの回答を全回答者から得た。

### 6) ライブラリートークで取り上げてほしいテーマについて

・全国大会で結果を出した人の話を聞いてみたいです。

・次回が楽しみです。

・天文学

自由記述で得られた回答をすべて原文のまま記述した。回答は次回の企画の参考としたい。

### 7) 意見と感想

・とてもたのしくあっという間でした。もっとお話が聴きたいです。

・1回目、授業時間と重なっていたのが残念。動画配信はうれしかった。

・知らない職業について知れて良かった。

・すこし南極に興味があったので、いろいろな話を聞けてよかった。

自由記述で得られた回答のすべてを原文のまま引用している。第2回のみ参加者からは、第1回の動画を見てきたとのコメントがあり、動画の公開は

連続講義の受講にも有効であると言える。

### 3. 終わりに

令和2年度は学校行事の実施が難しい状況にあったが、学内の理解と協力を得てライブラリートークを実施することができた。また、昨年度に課題としていた名取市図書館との連携については、新たな協力形態を追加することができた。

今後の実施については、次年度の感染対策や学校運営方針を参考に検討していきたい。

### 謝辞

ライブラリートークは多くの方々のご尽力により実現しました。令和元年度講師の福村裕史校長先生、野角光治先生、永弘進一郎先生、令和2年度講師の中田純一先生には興味深い講演をしていただき深く御礼申し上げます。加えて、福村校長先生には、名取市図書館ナイトライブラリーにおいて、市民を対象に深い内容をわかりやすくお話しいただきました。心より感謝申し上げます。また、ナイトライブラリーでは名取市図書館館長の柴崎悦子様はじめ同図書館のみなさま、株式会社化学同人の佐久間純子様、仙台高専庶務課・企画室のみなさまにたいへんお世話になりましたありがとうございます。そして、行事に参加してくださいましたみなさまにはありがとうございました。

### 注記

注1) 名取市図書館ナイトライブラリーにおける福村校長の講演の様子は名取市図書館フェイスブックで紹介されている。

名取市図書館フェイスブック：

<https://www.facebook.com/322525098184681/photos/a.322534818183709/1000520183718499/?type=3>

また、当該行事について、仙台高専は、学内で案内するとともに、周知と報告を学校ホームページにて行った。

以下に、当日とその後の名取キャンパス図書館における展示について記す。

当日は受付に、福村校長の近著2冊と以下の資料を展示した。また、以下の資料を仙台高専のファイルフォルダに収め、名取市図書館からの資料とともに参加者に配付した。資料の準備に庶務課と企画室の協力を得た。

・福村校長の近著2冊の抜粋資料と紹介資料(株式会社化学同人様提供)

・仙台高専紹介資料(仙台高専キャンパスガイド2020, I類パンフレット, II類3コースのコースごとのパンフレット, III類1コースのパンフレット)



開催時刻までの2時間には、福村校長が作成した以下の動画を会場で連続再生した。前者の動画は、アクティブラーニング推進校として仙台高専が公開している学習コンテンツの事例のひとつである。福村校長が家庭でできる化学反応の実験を実演・解説している。

・仙台高等専門学校「遠隔授業のための科学実験—反応速度論を学ぶ—」 <https://www.facebook.com/仙台高専アクティブラーニング推進校-大学教育再生加速プログラム-ap-864945773613395/> (サイト内, 学習コンテンツ事例動画)

・仙台高専紹介動画

ナイトライブラリーの会場は名取市図書館の玄関とメインカウンターの間位置しており、図書館への訪問者が関心を寄せ、動画を視聴する場面があった。

ナイトライブラリーの翌日からは、仙台高専名取キャンパス図書館において、当日の講演を収めたDVDと関連資料を展示している。福村校長が講師を務めた令和元年度の第8回ライブラリーカフェと令和元年度の第1回ライブラリートークの関連資料と併せて展示している。

以下はナイトライブラリーの様子である。



名取市図書館ナイトライブラリーの様子



ナイトライブラリーで講演する福村校長

注2) 名取キャンパス図書館は通常は一般の方にも開放している。図書館ウェブサイトで周知するほか、学校祭、保護者会・保護者役員会、オープンキャンパス・入試説明会等の機会に紹介している。希望者には図書館ツアーを実施し、館内の案内や資料の探し方等の説明を行っている。

注3) ライブラリートーク特設コーナーは、図書館で行っている企画展示の一環である。周辺ではその他の常設特設コーナーやその他の企画展示を実施している(岡崎他(2021a)<sup>6)</sup>)。

注4) 資料 アンケート設問(第1回用・第2回用)  
令和2年度 ライブラリートーク アンケート

本日はライブラリートークにご参加下さいまして誠にありがとうございました。今後の参考とさせていただきますので、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

- 1) ご所属について
  - 本校学生 (学年・クラス: )
  - 本校教職員(学科・コース: )
- 2) ライブラリートークの内容はいかがでしたか?
  - とてもよかった
  - よかった
  - 普通
  - あまりよくなかった
  - よくなかった
- 3) 開催時期や場所はいかがでしたか?
  - 時期  早い  ちょうどよい  遅い
  - 時間帯  早い  ちょうどよい  遅い
  - 長さ  短い  ちょうどよい  長い
  - 場所  狭い  ちょうどよい
- 4) 今回のライブラリートークを何でお知りになりましたか?
  - 図書館ホームページ
  - ポスター (学内)
  - メール
  - 担任・教員から聞いて
  - 知人・友人の紹介
- 5) 今後もライブラリートークが開催された場合、参加したいと思いますか?
  - ぜひ参加したい
  - 参加したい
  - どちらともいえない
  - あまり参加したくない
  - 参加したくない
- 6) 今後、ライブラリートークで取り上げてほしいテーマがありましたらお書き下さい。

岡崎久美子, 窪田 眞治, 若生 一広, 森 真奈美, 北島 宏之, 小林 仁,  
梅木 俊輔, 荒 孝二, 後藤 浩子, 国分 宏樹, 遊佐 梨江

- 7) ご意見やご感想がありましたら, ご自由にお書き下さい。  
□ アンケートの結果は個人が特定されないよう, 集計された形で公表することがあります。

#### 参考文献

- 1) 岡崎久美子, 武田光博, 奥村真彦, 野角光治, 吉野裕貴, 宮崎義久, 谷垣美保, 山木幸一, 加藤文樹, 尾田陽子, 遊佐梨江: 仙台高専なとりライブラリーカフェの開催, 仙台高等専門学校名取キャンパス研究紀要, 第53号, pp. 17-22 (2017)
- 2) 岡崎久美子, 濱西伸治, 野角光治, 柳生穂高, 吉野裕貴, 荒 孝二, 坂本香代, 佐々木敦子, 遊佐梨江: 仙台高専なとりライブラリーカフェの検討, 仙台高等専門学校名取キャンパス研究紀要, 第54号, pp. 10-17 (2018)
- 3) 岡崎久美子, 窪田眞治, 古内孝明, 柳生穂高, 本間一平, 塚田由佳里, 荒孝二, 坂本香代, 遊佐梨江: 仙台高専なとりライブラリーカフェの改善, 仙台高等専門学校名取キャンパス研究紀要, 第55号, pp. 22-29 (2019)
- 4) 岡崎久美子, 窪田眞治, 鈴木知真, 佐藤友章, 北島宏之, 塚田由佳里, 宮崎義久, 荒孝二, 坂本香代, 国分宏樹, 遊佐梨江: 仙台高専なとりライブラリーカフェの実施と継続的發展へ向けた取り組み, 仙台高等専門学校名取キャンパス研究紀要, 第56号, pp. 25-32 (2020)
- 5) 岡崎久美子, 窪田眞治, 若生一広, 森真奈美, 北島宏之, 小林仁, 梅木俊輔, 荒孝二, 後藤浩子, 坂本香代, 国分宏樹, 遊佐梨江: 仙台高等専門学校名取キャンパス図書館における文献検索・電子ジャーナル講習会のオンライン化について, 仙台高等専門学校名取キャンパス研究紀要, 第57号, pp. 44-49 (2021b)
- 6) 岡崎久美子, 窪田眞治, 若生一広, 森真奈美, 北島宏之, 小林仁, 梅木俊輔, 荒孝二, 後藤浩子, 坂本香代, 国分宏樹, 遊佐梨江: 仙台高等専門学校名取キャンパス図書館における電子ブック利用促進の取り組み, 仙台高等専門学校名取キャンパス研究紀要, 第57号, pp. 32-43 (2021a)